

令和3年度

障害者支援(自閉症者療育)施設 はぎの郷 事業報告

1. 利用者の推移

(1)入・退所者推移

	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	R1.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
男	27	28	28	29	29	29	28	28	28
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15
対前年度増減	+1	0	+1	0	0	0	-1	0	0
合計	42	43	43	44	44	44	43	43	43

※R3年度平均利用者数：40.3人

(2)性別・年齢別表(R4.3.31現在)

	27	34	35	36	39	44	45	46	47	48	49	50	51	52	55	58	合計	平均
男	1	1	0	1	1	0	1	3	3	1	4	5	3	2	1	1	28	47.3
女	0	0	1	0	0	1	0	1	2	2	4	0	4	0	0	0	15	48.6
計	1	1	1	1	1	1	1	4	5	3	8	5	7	2	1	1	43	47.4

(3)市町村別利用状況(R4.3.31現在)

	金沢市	野々市市	内灘町	津幡町	七尾市	白山市	小松市	かほく市	合計
男	22	1	1	0	1	0	0	2	28
女	5	1	1	2	3	2	1	0	15
計	27	2	2	2	4	2	1	2	43

(4)障害支援区分表

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
男	0	0	0	3	14	11
女	0	0	0	3	6	6
計	0	0	0	6	20	17

※平均支援区分：5.26

※重度認定者：24名

2. 職員構成

R4.3.31現在

	定数	現員数	定数比		定数	現員数	定数比
施設長	1	1	0	事務長	1	1	0
サービス管理	1	1	0	事務員	1	1	0
支援課長	20	1	+1.4	管理栄養士	1	1	0
生活支援員		20.4					
看護師	1	1	0				
				合計	26	27.4	+1.4

3. 実施した主な行事

月	行 事	主 催	場 所
4月	新緑喫茶	はぎの郷	正面玄関
7月	水遊び	はぎの郷	正面グラウンド
7月	シェイクアウト石川に参加	石川県	各生活棟
8月	花火大会	はぎの郷	正面グラウンド
9月	お彼岸おはぎづくり	はぎの郷	各生活棟
11月	パフェのキッチンカーが来た	はぎの郷	正面グラウンド
	ハロウィンパーティー	はぎの郷	各生活棟
12月	クリスマス忘年会	はぎの郷	各生活棟
1月	マジシャンルパンによるマジックショー	はぎの郷・ノーム	トロール体育館
2月	節分・バレンタイン	はぎの郷	各生活棟
3月	ホワイトデー	はぎの郷	各生活棟

4. 職員研修及び関連研修

日 付	分類	内 容	備考
R3/5/28 (金)	研修 派遣事業	施設感染症対策強化事業 (公益社団法人 石川県看護協会)	
R3/7/12 (月) R3/7/19 (月)	研修	強度行動障害支援者養成研修：基礎	
R3/8/24 (火)	研修	サビ管更新研修	
R3/10/7 (木)	研修	全国知的障害関係施設長等会議	
R3/11/26 (金)	研修	新型コロナ禍の支援を考える	
R3/11/15～28	web 講義	障害者支援施設部会 全国大会	
R3/12/2 (木)	研修	虐待防止・権利擁護演習 虐待防止マネージャーコース	
R3/12/3 (金)	研修	虐待防止・権利擁護演習 管理者・設置者コース	
R3/12/6 (月)	研修	免疫力を高めるための食事の工夫	
R4.1.13 (木)	研修	コロナ感染事例報告から BCP について学ぶ	
R312/10～3/31	web 講義	全日本自閉症支援者協会 研究大会 滋賀 WEB 大会	
R4/1.29～2.13	web 講義	全国知的障害福祉関係職員研究大会 京都大会	
R4/2.28～3.31	web 講義	国立のぞみの園セミナー 高齢期の支援が変わるとき	

5. 受諾研修・ボランティア・見学等

(1)受諾研修及び実習

※コロナ感染予防対策のため、R3年度は受諾研修及び実習は中止している

(2)ボランティア ※来郷時、検温・消毒を徹底し受け入れる

内容	備考
織物作業指導	毎月1回

PC クラブ・インターネットカフェ	主に第1・3水曜日
-------------------	-----------

(3)見学

随時、見学希望・相談等に対しては、オンライン等を利用して受け入れてきた。

6. 支援全般について

1) 新型コロナウイルス感染症発生のため、生活スタイルの変更を余儀なくされた。人と人との関わり方が変わり、ソーシャルディスタンスを保ちながら一年中マスクをして生活をしなければならなくなった。

それに対し施設として今年度も、新型コロナウイルス感染症の予防を最重要課題として「施設に感染を持ち込まない」ということを原則として、感染症対策委員会の主導にて感染予防に向けた取り組みを徹底し、全体での活動から小ユニットでの生活・日中活動へと切り替えて、その中での利用者お一人おひとりに応じた支援のあり方を考えながら職員全体で取り組んできた。

本館男性棟（男性利用者19名）、本館女性棟（女性利用者15名）と別棟（男性利用者9名）がそれぞれ独自に生活を組み立てている。アセスメント・モニタリングを元に話し合い小グループ活動から段階的に各利用者の「個別」に焦点を合わせ一人一人の支援の在り方を検討しながら日中活動を提供してきた。また外部講師を招いての活動も定着し、ヨガ・ダンス教室では楽しみにしている利用者も多くリラックスできる活動となり、美術教室では自由な表現活動の場となってきた。

2) 職員の支援体制

「はぎの郷」は栄養、保健と密接に連携を取りながら日々の施設入所支援と生活介護（日中活動と生活支援）の2種類のサービスを提供している。

職員の勤務体制は、夜勤3人体制で、日勤の他に早出2人遅番3人と複雑なローテーション勤務を行っており職員間の情報共有や連携が重要となっている。

利用者の健康管理は日々の支援の中においても、ご本人の心身の状況の把握から口腔内の健康（歯周病や歯が脆くなり欠けるなど）や感染症等、速やかに情報を共有し対策を講じている。サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士等が常に連携を取り、24時間通して利用者一人ひとりに応じた支援を行っている。

しかし、不調や疼痛を訴えることが出来ない利用者が殆どの中、日常的にバイタル状況、睡眠状況、食事の摂り方、言動面等から異常に気付き、速やかに適切な医療機関につないでいくことが、今後ますます重要になってくると考えている。

また、男女共に平均年齢が50歳前になり、一般的に10～20歳程度加齢化が早いとされ、身体機能の低下や認知的な機能低下が顕著に現れる傾向にある。そうした高齢自閉症者に対する支援への理解や具体的な取り組みが、今後更に求められる。

3) 栄養

①委託業者との連携を密にとる。

②6ヵ月に一度のモニタリング会議に参加し、栄養ケアマネジメントを行った。

③利用者の健康状態・ADL状態・障害特性により特別食が増えてきた。

・栄養量 ・調理法 ・食事の形態（きざみ食、別盛り食） ・介助皿の使用

4) 医務

①健康診断、健康管理と疾病予防

◆ 健康診断 （年2回／ 9月、3月実施）

◆ 歯科検診 （年1回）

◆ 定期的な歯科通院

◆ インフルエンザワクチン接種（11月22日）

◆ 新型コロナワクチン接種

・1回目接種（7/14、7/21、7/28） ・2回目接種（8/4、8/11、8/18）

・3回目接種（2/9、7/18、3/2）

②【医療連携病院】

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

【入院時の個別付添い対応】

利用者の入院加療中に、ご家族の付き添いが困難な場合、ご家族から要請があれば可能な限り、付き添いができる様に配慮している。利用者の多くはASJ 共済に加入され、個室入院差額や付添いサービス利用費用についても補償される体制を取っているが、はぎの郷の職員の勤務ローテーションの中でその為に人員を割くことは現状難しい。コロナ禍の影響もあり、本来必要な入院治療を受けられない場合が増えてくると予測される。

7. 各部門別 活動報告

(1) QOL 向上担当部門

基本方針
ご家族と連携し、季節を感じながら、健康で心豊かな生活を提供する

重点目標：「新しい生活様式」を取り入れて安全・安心を保てるよう生活環境を見直し、
一人ひとりの生活の基本部分に目を向けてQOLの向上をめざす

○日々の生活習慣の徹底

- ・手洗い消毒を徹底し、特に食事前・トイレ後・外出から戻った時に手洗いが抜けないようにした。
- ・職員のワンケアワン手洗いを徹底し、手指消毒液も常に携帯する。
- ・利用者の生活習慣や行動を見直し、見通しを持って生活できるように予定表の作成と日課の掲示。
- ・館内の備品の管理は、すぐにわかるよう整理・在庫把握し、5Sを徹底した。

○健康管理 [生活支援員・看護師・栄養と情報共有し連携]

- ・毎日の健康把握（1日2回の検温・バイタル確認）
- ・健康状態の把握（月1回のほけんの日：体重・腹囲・血圧、脈拍、体温などを測定、記録する）
- ・歯磨きは、必要なのは利用者が自分の歯を磨く技術向上ではなく、職員が利用者の歯を磨く介助技術の向上。
- ・利用者の高齢化に伴う、介護の知識や技術の習得。

○余暇支援

感染症対策で各棟ごとの活動になり、余暇イベントを実施していった。

- ・季節が感じられる小行事と土日を中心とした余暇活動の提供。
- ・入浴後の喫茶や夜のおやつ提供とお菓子作り。
- ・月に一度の「誕生日おめでとう」のケーキ。
- ・各生活棟での季節に応じた室内装飾活動。

(2) 日中活動支援部門 ■療育活動■

基本方針

健やかな心身を維持し、四季を感じながら豊かな生活を送れるようにする

① ウォーキング活動・リトミック活動

午前中は各棟別での運動を行っている。個々の運動量やペースに焦点を合わせることは難しい。

加齢に伴い、利用者個々の身体能力や、必要な配慮も多様化していく中で、個別アセスメント、モニタリングを基に、「運動量」や「ペース」に焦点を合わせた運動の必要性を感じている。

◆ウォーキング活動

目的・方針

施設周辺や森林公園・宇ノ気運動公園などの屋外において、屋外の開放感・季節を楽しみながら、歩いた達成感を感じられるウォーキング活動に取り組む。

・各棟別でのウォーキング活動を行い、バスを使用する活動に関しては、各棟交代で行った。

◆リトミック活動

目的・方針

・音楽に合わせた身体活動により、楽しく身体機能の維持を図る。

・各棟内リトミックやステージ前を利用した外リトミック、トルロでの活動を行った。

② ヨガ・ダンス活動

目的・方針

・音楽やリズムに合わせて心身のリラックスを体験しながら、筋力や柔軟性などの身体機能に働きかけていく。

【ダンス・ヨガ（外部講師）】

活動日は、ヨガ 第2, 4木曜日 午後 2回/月、ダンス 第3木曜日 午後 1回/月

場所はトルロ2階体育館を使用。

- ・専門的な視点での体の動かし方、体操やダンスを体感することができている。
- ・楽しみにしている利用者も多く、リラックスできる活動となっている。

③ 美術教室「サンクス美術教室」

目的・方針

- ・利用者の創作活動を通じて、自己表現の場を設け、生きがいや自信につなげる活動にする。
- ・職員との新しいコミュニケーション手段の発見につなげる活動にする。

【美術教室（外部講師）】

活動日は第2, 4火曜日 午後 2回/月

場所ははぎの郷食堂を使用。

- ・毎回季節ごとのテーマをもとに下絵や音楽等を用意し、参加した利用者は自由に色をぬったり、シールを貼ったり、音楽にのりながら過ごしたりしている。
- ・楽しみにしている利用者も多く、下絵を選んで丁寧に色をぬっている様子がみられる。
- ・自由な表現活動の場となっている。

(3) 日中活動支援部門 ■作業活動■

基本方針

- ・「自分の仕事」という自覚と責任感を持って自主的に取り組める活動があること
- ・活動の場面に応じて適した清潔な衣類に着替えること
- ・活動の場には必ず職員が同席し、適切な関係が保たれていること
- ・活動を通して、その文化に触れたり、人との交流が生まれていること
- ・活動により、報酬や他からの感謝、自身の健康など恩恵を受けていること

①作業活動全体の取り組みと成果

作業班メンバーの編成を見直し、細分化したことで、利用者一人ひとりに目を配ること

が出来るようになった。

②各作業班の取り組みと成果、課題

作業班	作業内容	取り組みと成果	課題
織物班	①織物 結び織 機織り	・利用者各々の作業スペースと個々に応じた道具や材料を提供し、個人のペースで取り組むことができた。	・在庫の管理。引き続き販路を検討する。
	②染色 染材採り 染材ちぎり 染液づくり	・草木染め染色カレンダーを作成し、作業日程を調整した。	
	③園芸	・花壇作り、土作り、苗植え除草を行った。 ・腐葉土作りのための落ち葉拾いに出かけた。⇒良い土が出来ている。	
軽作業班	①ボビン 残糸巻取り	・作業空間を利用者にわかるように机と椅子の配置を検討した。 ・自主的に判断し作業を進められる「グループA」と、支援が必要な「グループB」に大まかに分かれる事で、作業工程に目を配ることができた。 ・利用者の様子を見て作業場所や支援内容は調整していく。 ・休憩場所の配置替えをし対面での休憩としないようにした。	・利用者への働きかけを統一できるよう、それぞれの課題を支援者が共通理解する。
	②新たな軽作業 ネジまわし 色分け課題等	・ボビンや、アルミ缶が不足しそうな時に随時、取り入れた。 ・ボビンの糸の量によって作業量が左右されないため、利用者によっては安定できる活動ともなっている。	・ボビンが無い時には「課題」としてネジやその他の軽作業も取り入れる。 ・環境整備も積極的に取り入れる。
	②アルミ缶 アルミ缶潰し	・作業時『軍手』を着用して、アルミ缶つぶし時の安全に配慮した。	・アルミ缶置き場の衛生を維持する。
畑作業	①畑作業 畝づくり 苗の購入 苗植え 雑草とり 支柱立て 看板作り	・畑作業の作業内容・進度の理解不足。年間計画を立てることができていない。 ・収穫野菜はフライデークッキングの材料として、計画的に消化し、直接的な形で労働の恩恵を楽しんでいる。	・畑作業の知識と技術向上がないままである。 ・農閑期の作業場所の狭さと寒さ。

	②小物(装飾品)作り 毛糸のポン玉 プラ板 まつぼっくり 採集 仕分け 種とり	・雨天時、農閑期の作業として取り入れた。 ・個人目標を作ることができていない。	・利用者主体の作業活動にしたいが慣れないということもありつい職員の手が出てしまう。 ・継続性がない。ヒット商品を開発したい。 ・畑班作業全体の計画カレンダーの作成。
	環境整備	・「はぎの郷」周辺の草むしり、腐葉土作りなど随時取り入れた。	
地域交流活動		・津幡高校との交流は新型コロナウイルスの影響で行わなかった。	

8. 環境の整備・修繕等（主な工事）

着手日	完了日	工事名	工事内容	備考
3/26	5/31	はぎの郷本館 冷暖房設備修繕工事	24 時間へビーロード型冷温水発生器への更新、冷却塔・冷温水循環ポンプ・冷却水循環ポンプの更新 故障ファンコイルの更新（3箇所）	令和2年度補正社会福祉施設等施設整備費(大規模修繕等)補助金
5/12	5/13	合併処理槽 ブローア取替	浄化槽の循環のための設備の経年劣化	
	6/10	制御盤リレースイッチ取替		
5/27	5/27	自活棟エアコン取替	古くなった自活棟各居室・リビングのエアコンの交換	10台
9/1	10/31	はぎの郷本館 壁補修	男性棟・女性棟リビング、食堂の壁にセラールという壁パネルを貼り修繕を行った	社会福祉充実計画事業
9/2	9/22	自活棟前 カーポート設置	自活棟前に車4台分のアルミ製カーポート設置	社会福祉充実計画事業
10/27	10/27	LED 防犯灯取付	本館外周の防犯のための水銀灯が切れたため LED 外灯整備	4箇所
10/27	10/27	樹木伐採整備	正面坂下～別所橋に至る敷地内樹木が繁茂し別所地内への送電線に掛かるようになったため、伐採。及び防災上の観点から巨大杉の芯止めを行う	
12/20	2/8	はぎの郷本館玄関横 カーポート、スロープ屋根工事	本館玄関～スロープの屋根及び4台分のアルミ製カーポートを設置	社会福祉充実計画事業

令和3年度 ジョブスタジオ ノーム 事業報告

1. ご利用者の状況

(4)ご利用契約者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

※令和3年度は新規の利用者も、退所される方もいなかった。

(5)性別・年齢別 人数表(R4.3.31 現在)

年齢	10台	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	平均年齢
		24	29	34	39	44	49	54	59		
男	0	2	4	0	1	0	4	5	1	0	40.8
女	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	26.5
計	0	2	6	0	1	0	4	5	1	0	39.3

(6)市町村別ご利用状況(R4.3.31 現在)

市町村	金沢市	白山市	内灘町	津幡町	羽咋市	かほく市	小矢部市	計
男	9	1	2	0	1	3	1	17
女	0	0	1	0	0	1	0	2
計	9	1	3	0	1	4	1	19

(7)利用者の障害支援区分(R4.3.31 現在)

	利用者数	障害支援区分判定						未判定
		1	2	3	4	5	6	
男	17			8	2	2	3	2
女	2				1	1		0
計	19			8	3	3	3	2

(8)新型コロナウイルスの影響

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者数	421	311	406	418	385	411	411	407	434	371	358	382
開所日数	23	21	24	23	22	23	23	22	24	21	21	22

※5月11日～6月13日の緊急事態宣言を受け、(1)通所者の出勤の自粛依頼、(2)送迎車の運休をお願いした。また1月27日～3月6日のまん延防止措置期間には(1)送迎車利用の自粛をお願いした。

※3/21 職員の家族が陽性者となり濃厚接触者として2週間(新たに家族内感染があったため)出勤を停止した。

※保育園・小学校が休園・休校となり出勤できない職員に対しては、県からの指導もありR4年1月より特休扱いとした。

※年間を通した平均利用者数は 17.6 名(昨年度と同値)となった。

2. 職員構成と異動

R4.3.31 現在

管理者	1	常勤
サービス管理責任者	1	常勤
目標工賃達成指導員	1	常勤
職業指導員	1	常勤
生活支援員	5 (3.21)	常勤／非常勤

3. 実施した主な行事

(1) ノーム全般（施設行事・交流）

日	内 容	会場
4/2	自閉症啓発デー 石川門ブルーライトアップ	オンライン
4/19	八重桜ウォーク（倶利伽羅峠まで往復 16km） （保護者会）おやじの会 中止	倶利伽羅公園
6/13	津幡町美化大作戦 参加中止、自主清掃実施 梅干し作り（保護者会活動に協力）中止 萩坂地区合同盆踊り大会 中止	萩野台公民館
	萩野台公民館 元気塾（放課後児童クラブ）支援 流しそうめんセッティング 中止 流しそうめん大会 中止	
7/8	チャンピオンカレーのキッチンカーが来た！	トロール
8/25	ノームオリンピック	トロール&屋外
9/30	秋のスペシャルウォーキング（往復 16 km） はぎの郷まつり 中止	森林公園
12/13 ～ 4 回	石川県自閉症協会主催 陶芸体験教室	トロール
12/20	1年の振り返り Xmas 会	かほく市
1/12	おみくじ大会（新春お楽しみイベント）	トロール
1/18	石川県自閉症協会助成事業 マジシャンルパンのサイエンス&マジックショー	トロール
3/18	みそ作り体験教室	トロール

(2) 就労支援関連

5/28、9/5	「加賀料理 秋月」様 福祉事業所販売会に出品	加賀料理 秋月
6/28	「POLA RECIA」様 愛MARCHEに出品	POLA RECIA
10/26	新たな木工作業の依頼を受け作業開始	(株)シモアラ様より
11/5	石川県主管オンラインショップ『いっしょころマート』キックオフイベント参加 PFU/ProDeS様 お届け販売会	金沢港クルーズターミナル 本社/ProDeS 売店
12/24	F J I T労働組合とのクリスマス販売会 今年度も対面販売中止、製品の予約販売のみ	F J I T売店

<p>●津幡町役場、津幡町社協、ユニバール(株)のご協力にて季節の企画(母の日、父の日、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、ホワイトデー)においてチラシ回覧による注文販売を実施</p> <p>●本年も新型コロナウイルス感染症の影響で販売イベント等が中止、もしくは参加自粛となることが多かった。</p>

(3) 生活・余暇支援関連

4/3	お花見ランチ	トロル駐車場
5/27	歯科検診	はぎの郷
7/8	段ボールアート	ノーム
①7/14、8/4 ②7/21、8/11	新型コロナワクチン予防接種(①、②回目)	トロル 全利用者・職員
7/29	味噌開き	ノーム
9/24	健康診断	はぎの郷
11/22	インフルエンザ予防接種	はぎの郷
2/3	節分の集い in トロル	トロル
③2/9、2/18	新型コロナワクチン予防接種(③回目)	トロル
3/8	健康診断(はぎ・すぎな)	本館ホール

※労働の報酬を実感できるよう、ご家族のご協力を得て毎月の給料日を一部現金支給にし、貯金箱に積み立てを行い、「チャレンジデー」等の行事の費用に充てている。(H23年度より継続)

4. 職員研修及び福利厚生

日付	分類	内容	備考
5/28	研修	施設感染症対応強化事業 研修会	県看護師協会
8/24	講習	食品衛生責任者研修	シグナスにて
9/22	研修	サービス管理責任者現任研修	オンライン
10～12月	厚生	職員健康診断(河北中央病院 他)	
1/18、1/19	研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	講師として
3/4、3/5	研修	強度行動障害支援者養成研修(実践)	講師として

※コロナ禍により研修大会や集合での研修の機会が減ったことから、今年度より民間事業者のオンラインの研修プログラムの利用を開始した。(全職員が時間・場所を問わず、障害者福祉について学ぶことが出来る)

5. 受諾研修・実習・ボランティア・見学等

(ア) 受諾研修及び実習

受入日(期間)	分類	所属	人数	延べ日数
9/29(10日間)	保育実習	金城大学短期大学部	1	10

(イ) ボランティア

来郷者	内容	備考
NPO 法人 ケーネット知楽市	インターネットカフェ	主に第1・3水曜日
	パソコン再生	随時
PFU 労働組合	PC再生	随時
石川工業高等専門学校	PC再生	随時
津幡高校園芸部	作業関連の交流活動	随時

(ウ) 職員の委嘱業務・地域貢献等

津幡町共同募金会 審査委員	津幡町共同募金会
強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)企画委員	石川県

津幡町障害支援区分 審査委員	津幡町
障害のある方のアート活動支援研究会 企画委員	石川県
自閉症啓発デー 関連行事	石川県自閉症協会

(エ) 見学者ご来訪

月日	見学者	備考	人数
4/12	津幡町地域自立支援協議会	しごと部会取材	1
10/4	かほく市 A 型事業所	見学	2
10/5	福祉系大学生	見学	1
11/9	金沢市内児童相談支援センター	情報交換	2
12/9	金沢市内 保護者	見学	1

6. 整備・修繕工事等

(1) カーポートの設置

福祉充実計画により駐車場に 4 台分のカーポートを設置。雨や雪の日も利用者は濡れずに送迎車に乗降できるようになった。

(2) 食堂・作業室の壁の修繕

石膏ボードに壁紙を貼った食堂・作業室の壁は 10 年の間に、所々穴が開いたり、擦り切れたりしていたので、福祉充実計画により、不燃性の壁パネルに張り替えた。

7. 助成、寄贈

- ・6月16日 平成27年10月にノームへご視察にお越しいただいた、瑤子女王殿下より、コロナ禍にあるノームの仲間・職員を思い遣るお手紙と、殿下のオリジナルマスクをお届けいただく。

8. 今年度の取り組みのふり返りと工賃支給実績

(1) 支援全般について

対面でのイベント出店や外出行事等は行えなかったが、感染対策を考慮しながら新たな販売方法や行事を模索してきた。

【今年度の取り組み】

●工賃向上や社会参加につながる各種イベントへの出店・販路の拡大

令和3年度は、続くコロナ禍に対し、対面ではない形での宅配やドライブスルー販売を取り入れたが、保護者・ご家族の皆様にはご理解・ご協力をいただき、また宣伝等により新たなお客様も増えてきたことにより工賃支払総額・月額平均工賃をわずかではあるが向上させることが出来た。

●感染症への対策と仲間への生活支援

引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、施設に持ち込まないための対策を講じてきた。それにはご家族の皆様の日々のご協力が重要であった。また感染拡大レベルの変化により危険度が高くなった場合には、出勤の自粛や送迎の中止にもご理解ご協力をいただき、無事に過ごすことが出来た。

今年度も大きく分けて、1日を通して作業労働に従事される方(5時間)と、午前運動(2時間)・午後作業労働(3時間)という日課で過ごされる方との2グループに分けた運営を行ってきた。感染危険度が高い時期には、食事や行事についてもグループ別個に行った。

【就労支援事業収入と工賃支給】

	R3年度	R2年度	R1年度	30年度	29年度	28年度	27年度
① 就労支援事業収入	4,779,709	4,976,145	5,405,745	5,827,023	5,353,169	5,368,430	5,396,179
② 工賃支払総額	2,580,071	2,478,634	3,032,377	3,213,023	2,916,025	3,152,555	3,090,500
③ 平均工賃月額	11,416	10,871	12,959	13,192	12,356	14,801	13,921

(2) 各作業種目別実績

作業種目	具体的作業名	作業の内容・特徴	年間売上げ額 (売上全体に対する割合)	作業における課題
飲食料品	食品加工 (焼き菓子作り)	洋菓子(クッキー)の製造 販売会やショップ販売の実施 企画セットやギフトセットの販売 企業等への注文販売	2,752,948 円 (57.6) %	宅配用セット商品の開発
日用雑貨・小物・ 木工(工芸)	ウェス加工 名刺・年賀状印刷 ポストカード メモ帳・木工	・ノーム・はぎの郷利用者の絵 画を使用した自主製品作り ・新たな木工作业等、季節製品 等の新規の企業のご依頼が増 えた。	214,052 円 (4.5) %	イベント減少により販売は伸び ていない
下請け・内職	カーテンフック 組み立て作業 菓子ラッピング作業	・誰でも参加できる軽作業とし て、位置付けている。 ・常に材料の供給があるため安 定して同一の作業活動を提供で きる	1,122,463 円 (23.5) %	フック:分かりやすい作業のため、ノ ームの活動の中心となっている。 ラッピング:作業量が増えているが職 員による検品作業も増えている
その他	PC再生	・利用者の社会参加・社会貢献 の機会を広げる作業として位置 付け ・多くのNPOやボランティアとの 協働作業で実施している	293,646 円 (6.1) %	企業からの不用PCの提供が減少 しており、再生台数も減少している
清掃業	清掃業務 ・環境整備	・業務訓練の一環として、同法人施 設の清掃を部分的に実施してい る。 ・マニュアルに沿った業務を遂行で きるよう支援している。	396,600 円 (8.3) %	作業マニュアルが形骸化し、作 業者の自己流になりかけてい る

9. 自閉症啓発への取り組み

◎世界自閉症啓発デー Light It Up Blue2021：石川門ブルーライトアップへの協力

今年度もコロナ禍のため集合イベントは中止となったが、ZOOM による点灯式の様子を
YouTube

でライブ配信し、一般市民への自閉症啓発活動を行った。

◎強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

県の研修の企画委員として参加し、県下全ての障害福祉事業所職員を対象に、強度行動障害に至
る可能性のある自閉症児者への支援についての研修を実施し、自閉症者への支援に対する理解の
浸透と、障害者虐待防止・権利擁護に繋がることを目指している。(継続中)

以上

令和3年度 発達障害者支援センターパース 事業報告

1. センターの状況

(1) 職員配置

6名（内、常勤4名、非常勤2名）

(2) 実施場所

金沢市福久東1-56 オフィスオーセド2階建ての2階の2室を賃借

(3) 委託料

前年度より321千円減額

2. センター事業の実施状況（表1）

			R3年度	前年度
(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援	来所、訪問、電話、Eメール 原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30 Eメールは24時間受付、緊急時は携帯電話等で時間外にも対応	実支援人数	684人	718人
		延支援件数	2559件	2045件
	心理学的判定	実判定人数	9人	6人
	情報共有等（調整会議）		28件	32件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		2515件	2803件
(2) 発達障害児者に対する就労支援	来所、訪問、電話、Eメール 原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30 Eメールは24時間受付	実支援人数	210人	235人
		延支援件数	2747件	2479件
	情報共有等（調整会議）		118件	172件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		762件	770件
(3) 地域住民等に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 世界自閉症啓発デーについての広報活動 ペアレントメンターについての周知・理解 NPO法人への発達障害者支援に関する助言、説明会 ピアサポーターへの説明会 	実施回数	58回	35回
(4) 関係施設・関係機関等に対する普及啓発及び研修	センター主催または共催で企画した研修 ・ペアレンティング研修の主催、ペアレントメンター相談会の共催 他	実施回数	16回	50回
		延参加人数	121人	367人
	外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	60回	41回
		延参加人数	819人	371人
	教育関係者との合同研修会	実施回数	27回	14回
		延参加人数	93人	45人
(5) 関係施設・関係機関等の連携	連絡協議会の開催状況 ・世界自閉症啓発デーin石川企画委員会 他	実施回数	8回	29回
	障害者総合福祉法第89条の協議会等への参加状況 ・地域障害者自立支援協議会（津幡町・かほく市・白山市） ・市町発達障害者担当課長会議 ・石川県発達障害者支援体制推進会議等および石川県特別支援教育体制整備推進事業連絡協議会	参加回数	11回	4回
	その他の協議会への参加状況 ・強度行動障害支援者養成研修企画委員会	参加回数	7回	16回

3. 事業の実施内容（表2）

<p>(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援 当事者・家族や関係機関からのニーズに対し、来所・訪問・電話・テレビ会議システム・Eメールなどの方法で相談を実施した。必要に応じて心理検査等のアセスメントや支援計画の作成を実施した。関係機関のコンサルテーションを実施した。 主な関係機関…保育所、放課後児童クラブ、小・中・高校、特別支援学校、大学、児童相談所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、医療機関、保健所、行政機関 など</p> <p>(2) 発達障害児者に対する就労支援 当事者・家族や関係機関からの就労に関する相談に対し、来所・訪問・電話・テレビ会議システム・Eメールなどの方法で実施した。県青年期社会適応力向上事業として NPO 法人ケーネット知楽市と協働での IT サロンや安宅数楽塾と協働でのボードゲーム（能登地区および加賀地区）の開催に協力した。他、就労関係機関のコンサルテーションを実施した。 主な関係機関…医療機関、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、公共職業安定所、企業、司法関係機関、行政機関 など</p> <p>(3) 地域住民等に対する普及啓発 世界自閉症啓発デー in 石川に関する企画・運営を、石川県自閉症協会やその他の関係者とともに実施した。（4月2日は新型コロナ感染予防のため、ライトアップに関する動画を生配信した）</p> <p>(4) 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修 強度行動障害支援者養成研修の企画委員として基礎研修（193名受講）と応用研修（89名受講）の実施に協力した。 ホームページ及びブログの更新を随時実施した。</p> <p>(5) 関係施設及び関係機関等の連携 発達障害者支援に関する様々な会議の企画・運営に協力、参加した。県及び市町の障害者自立支援協議会及び運営会議に参加した。</p>

(1) ペアレントメンター

石川県内の受講希望者を主体としたペアレントメンター養成講座ベーシックコースを実施した。インストラクターは金沢大学の教授1名、准教授1名、その他石川県内で活動している臨床心理士や相談支援専門員らに依頼し、質の高い研修を実施することができた。

石川県自閉症協会げんきの会をはじめとする親の会主催の相談会、パースでの個別相談、テレビ会議システムを用いてのメンター交流会、活動報告会、などに関してペアレントメンター派遣をコーディネートした。

(2) ペアレンティング研修

子どもの発達・発育の偏りによる親の育児不安に関して、身近な地域で専門家の指導を受けられる環境整備の一環。児童発達支援センター、放課後等児童デイサービスの職員10名を対象とし、子どもへの関わり方について親・養育者等を指導できる人材育成を目的とし、テレビ会議システムを用いた基礎講座を5回、フォローアップ研修を1回、計6回実施した。

(3) カサンドラ症候群の女性のためのグループワーク

T O C f E のミニ講座と当事者同士の交流会を1回実施した。

5. 発達障害者地域支援マネジャー事業

県内各市町の発達障害児者の相談体制作りや困難事例への支援ができるよう、要請に応じて5市5町に延べ110回出向いた。（前年度は49回）

6. その他

- オンライン会議システム Z o o m p r o（ズームプロ、2,200円/月）の契約
- エアコンの故障に伴う買い替え
- 公用車の寄贈を受ける（従来の公用車は廃車処分）
- 資格(公認心理師)取得者1名

令和3年度「ホームすぎな」事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者の性別、年齢、市町村別状況

- ・現利用者は6名（定員7名）、全員男性、平均年齢：50.5歳
- ・金沢市(4)、かほく市(1)、白山市(1)

(2) 障害支援区分

- ・区分4（5名）
- ・区分5（1名）

(3) 日中利用活動

- ・6名全員、平日の日中はジョブスタジオノームにて生産活動や受託作業等の作業に従事されている。

2. 職員配置

- ・管理者(1)・・・常勤（兼務）
- ・サービス管理責任者(1)・・・常勤（兼務）
- ・生活支援員(2)・・・非常勤2（専任1、兼務1）
- ・世話人(1)・・・常勤（専任）

3. 年間延べ利用日数

令和3年度	令和2年度	令和元年度
2,082日	2,107日	1,782日

※新型コロナ感染対策のため、はぎの郷と同日程で、月1回の週末帰省を実施できるよう調整し、市中の感染状況が悪化した際には帰省を取り止めたりして、施設内への感染持ち込みを防いできた。

4. 行なった環境改善

- ・屋根裏収納庫へ換気扇を取り付け、衣類等も保管できるようにした。
- ・各居室のエアコンの傷みが激しく、更新した。傷みの原因となった凍結対策も行った。
- ・館内の気温差や湿度調整のため、新たに廊下にエアコンを設置した。
- ・浴槽の排水管の変形により腐敗臭の逆流が起き、設備改修した。

5. 支援内容

- ・すぎなで行っている支援やご利用者の状況がはぎの郷支援員に理解されていないと、万が一の際のバックアップが困難になるため、すぎな会議内容等の共有を図った。
- ・ノーム休日や週末の余暇活動支援の充実を図り、新たに創作活動等のプログラムを実施した。
- ・帰省から帰ってきた日から1週間や発熱者が発生した場合には、各ご利用者は自室にて食事を摂っていただく体制とし、万一の場合もクラスター拡大が起きないような生活習慣の定着に努めてきた。

6. 課題

- (1)すぎなでの生活や余暇活動の中に、自己決定支援をさらに取り入れ、個別支援を充実させていく必要がある。
- (2)土日をホームで過ごすことが多くなり、行事のレパトリーを増やす必要がある。こちらも利用者同士での話し合いに基づいて内容を検討していきたい。
- (3)（継続）バックアップ施設であるはぎの郷の職員と、年々疎遠になってきており、休日等すぎなの仲間がはぎの郷に出入りしても対応できない職員が増えている。バックアップできる体制の維持は今後すぎながどのような体制を取ろうとも必要であるため、日頃の情報共有と職員の行き来が必要。
- (4)近々には夜間支援体制も必要となってくる。

以上